



# 三重電気会報

平成18年8月発行 第100号

## 残暑お見舞申し上げます



お木曳 (伊勢支部 三上 昇)



# 平成18年度 通常総代会開催 楠 理事長・会長 再任

五月二十五日、三重電気会館において、第41回工業組合通常総代会を開催した。総代九十名中、八十九名(委任出席十名)が出席、来賓として、三重県議会議

員中川正美氏、三重県防災危機管理部消防・保安室長東畑誠一氏、(株)トーエネック執行役員三重支店長岡本章氏のご臨席のもと上野支部石原理事の司会により開会、議長に岡野理事を選出、議案審議に入った。

第一号議案より順次提案審議、質疑応答の後、原案どおり可決承認された。

第六号議案の役員改選となり議長より新理事候補を報告、満場一致により新理事を選出、総代会の議事を一時休憩とした。直ちに、理事会を開催、新役員(理事長・副理事長・常任理事)が選出された。新役員を代表して楠理事長が挨拶、新執行部の紹介、関連事業の報告、承認をもって十二時三十分終了した。

続いて、十四時から第61回協力会通常総代会を開催、顧問中部電力(株)取締役三重支店長新澤隆様始め参与の皆様のご臨席を賜り、工組総代会と同様に石原理事の司会、岡野理事の議長によ

り議案審議に入った。第一号議案より順次提案審議、原案どおり可決承認された。

役員改選についても工組総代会と同様及び(株)トーエネック岡本執行役員三重支店長を常任理事とし満場一致で承認された。

終わって別項のとおりそれぞれ表彰を執り行い十五時三十分終了した。

## 就任ごあいさつ

三重県電気工業組合理事長  
三重県電気工事協力会会長

楠 修次

残暑の候、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

私、この度の総代会において再び理事長、会長職を任され、改めてその責任の

重大さを痛感いたしております。

さて、電気工業界を取り巻く環境は、県下北勢地域の一部には好感がでてくるものの、全体としては仕事量の減少、原価を無視した価格競争、後継者若年労働力の不足、原油高騰による電線はじめ電材商品の値上がり等、難問山積みでまだまだ厳しい状況が続いております。

これらの現況を直視し、組合事業も本年度より従前の委員会組織を抜本的に見直し、少数精鋭を旨として効率運営に取り組んでおりますので、どうか昨年に増して一層のご理解とご協力をお願いいたします。

ところで、最重要課題であります安全の確保ですが、

(3面へつづく)



楠 理事長(会長)のあいさつ

(2面よりつづく)

昨年も他県においては作業上の重大災害が数件発生しており、再発防止に取り組んでいるところであり、しかしながら残念なことに、もう既に本年度に入り、柱上からの墜落事故が報告されています。幸い本県では引込み工事作業については、永年無事故を更新しておりますが、今後も油断することなく、各支部活動の安全訓練、教育を最優先にお取り組み頂きますよう切にお願いいたします。

本年は、おかげさまで設立、協力会六十年、工業組合四十年を迎えることができました。総代会の同日、ささやかではありましたが周年記念行事も無事終えることができました。先達のご尽力に感謝を忘れず、それぞれの足跡を振り返りながら、不易流行と申しませうか、良き伝統は次の世代に確実に申し送り、時代の変化には柔軟かつ迅速に対応してまいります。

今後とも本組合、協力会の運営に役職員一丸となつて努力いたす所存でありますので、皆様のご指導、ご鞭撻を改めてお願い申し上げます。

### 新役員の皆さん



副理事長(副会長) 石原 和夫  
副理事長(副会長) 三井 徳男  
副理事長(副会長) 岡野 秀隆  
理事長(会長) 楠 修次

## 総代会にて 表彰された皆さん

- 一、安全推進優良工事店表彰 (協力店 十六店)
- 津支部 榎山電
- 久居支部 三重電気工事(有)
- 上野支部 上野電工(株)
- 名張支部 新田電気工事
- 松阪支部 山本電設
- 大台支部 なかの電気商会
- 尾鷲支部 山本電工
- 伊勢支部 橋本電機商会
- 鳥羽支部 タケナカ電器
- 志摩支部 柴原電気商会
- 四日市支部 増田電気工事(株)
- 富田支部 水谷電気
- 桑名支部 平野電工社
- 員弁支部 日沖電機工事
- 鈴鹿支部 カノン電気
- 亀山支部 原電気工事(有)
- 二、優良工事店感謝状贈呈 (中部電力(株) 十店)
- 津支部 落合電設
- 上野支部 (有) ステージコラブレイン
- 松阪支部 (有) アイジイエイ
- 大台支部 天野電気
- 大台支部 瀬古電気商会



表彰風景

- 尾鷲支部 尾張電気工事
- 志摩支部 松尾電気
- 四日市支部 前川電気(株)

- 津支部
- 桑名支部
- 鈴鹿支部

- 四日市支部 光星電機工業
- 員弁支部 (有) 十社電気商会
- 鈴鹿支部 林電気商会
- 三、小規模工事優良支部表彰 (協力会 四支部)
- 四日市支部

# 総務委員長に

## 就任して

〈章紙〉



総務委員長  
飯田 秀爾

今期、三たび総務委員長に就任し、実質四期目を迎えることとなりました。

その使命を果たすべく、精一杯努力いたす所存です。よろしく願います。

さて、工組・協力は、

それぞれ設立四十年・六十年を経て、次なる五十年・七十年に向けての、新たな第一歩を踏み出したところ  
です。しかし、今後の十年は、(大きな転機を迎えている。曲がり角にさしかかっている)そんな気がしてなりません。

※高齢化と後継者不在による会員の減少

※組合加入意識の希薄化

※組合加入希望者の減少

※前述による構成比率の低下

※昇降柱安全訓練における

特別加入労災の不適用  
※第三者賠償保険制度の健全な運営

※協力会の会費・賦課金の見直し(章紙の廃止)

等々

国はこの五年間、小泉総理の政治理念でもある行政改革の「目玉」として、

「民でできることは民で」を、キャッチフレーズに、道路公団・郵政事業の民営化を断行しました。

いちがいに評価はできませんが、多くの弊害も派生したことは否めません。

弊害の中の際たるものとして、《格差》が取り上げられています。

小泉内閣が、「抵抗勢力にも屈せず、行革を推し進めてきた。」という偉大な業績も、この《格差》ひとことで、打ち消されるほど由々しき問題であると言えそうです。

実は、二十年程前、工組青年部会長として、理事会にオブザーバーの立場で、出席しておりましたが、このとき以来、「章紙による賦

課金の徴収は、設立当初は会員も横並びで、この方法が最良であったかも知れないが、現在では、電気工事を営む会員の形態、規模も様々で、大きな《格差》を生じてきており、必ずしも公平・公正でないのでは。

従って、章紙による徴収を廃止して、他により良い方法を検討しては。」と、提言し続けてきました。

協力の会の経費のうち、会員が負担する費用は、次のようになっています。

一、会費(三重県工組徴収分)会の運営上、不可欠で基本的な費用

一 会員 月額六〇〇円

二、引込手数料(賦課金)委託工事代金に比例してその金額の〇・二%(一〇〇〇円に対して二円)

三、章紙(賦課金)

《低圧》電灯、動力、仮説など一般申込み

一件につき、一〇〇円

《高圧》高圧申込み一件につき、四〇〇円

しかし、その実情はと言

(5面へつづく)

### 三重県電気工業業組合 三重県電気工事協力の会

## 新役員名簿

理事 会長	(津) 楠 修次
副理事長・副会長	(松) 阪岡野 秀隆
常任理事	(志) 摩三井 徳男
	(上) 野石原 和夫 (新任)
	(津) 飯田 秀爾
	(桑) 名伊藤 満三
	(津) 繁田 義久
	(鈴) 鹿藤田 昌憲
	(尾) 鷲森本 恭弘 (新任)
協常任理事 (ネット・エネック)	岡本 章
	(名) 張奥村 栄
	(松) 阪松本 勝美
	(松) 阪角谷 徹 (新任)
	(大) 台森井 貞彦
	(伊) 勢鈴木 茂
	(伊) 勢下井 貢 (新任)
	(伊) 勢尾上 勝 (新任)
	(鳥) 羽山本 幸
	(四) 日市市川 保
	(四) 日市和田 博
	(四) 日市大西 宣義 (新任)
	(富) 田太田 一雄
	(員) 弁伊藤 文一
	(員) 弁笠井 正也
	(員) 弁日沖 辰哉 (新任)
監事	(龜) 山光本 寿一 (新任)



(4面よりつづく)

いますと、組合支部の事務局職員が、わずかな暇をぬって、申込用紙に一枚一枚この章紙を貼っているにもかかわらず、現実には貼付されていない申込用紙も見受けられます。

以前は、支部の役員が、各営業所の協力を得てこの調査にあたり、未貼付の会員には直接、請求書を発行し、徴収していたこともありましたが、また、申込手続きの簡素化、電子化を促進するために電子申込みが可能となりましたが、これも後日、営業所でカウントしていただいたものを提出いただき、支部事務局より、それぞれ請求する方法によらざるをえません。

個人情報保護法の施行により、より一層複雑になってきております。

さらに、高圧章紙にいたっては、十六年度・十七年度の二年間、一枚も貼付していない支部が、十五支部のうち、七支部にも及んでいることが判明しました。

このようなことから、章紙にかわり、会員である証に、会員固有のコード番号のゴム印と、カールスタンプを、本部で一括購入、配布し、これを申込用紙に押印する。なお、章紙廃止による経費の収入減については、現在定額の会費を、会員の規模により、累進制度を導入したり、委託工事項の多い所がこの一部を負担するなど、いろんな方法が考えら

### 事業委員長に 就任して



事業委員長  
藤田 昌憲

会員の皆さんこんにちは。今迄厚生委員会であるいろいろと皆さんのご協力で第三者賠償保険をはじめ年金や傷害保険共済とお世話になってまいりましたが、この度大きな改革で事業委員会と名前を変えて新たに船出することとなりました。

れます。本部のみでなく、支部の運営も含めたいうえでの、改革が求められていると思います。(新しい時代の公平公正)といった観点でもご理解、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。同時に各支部例会での、一つのテーマとして、取り上げていただき、その結果、当委員会・理事会までご提言いただきますようお願いいたします。

従来の厚生は共済と名を変え、技術研修部会から事故調査部会、情報(IT)部会、でんき元気部会、年金基金部会とそれぞれ部会長の元、今後いろんな問題に取り組んでいただくことになりました。

以前よりそれぞれの諸問題についてより細やかにより専門的に取り組んでいくことが可能になると期待をしております。

組合を取り巻く環境は大きく変化しております。電気工事の中にITという情報技術が大きく影響して従

来のように強電や電話、TVだけではなく情報技術、インターネット通信、光電話など避けては通れません。また、昨年皆さんに大変ご無理をお願いしました第三者賠償保険においても、大きな事故再発防止に歯止めがかかりません。

現在も損保からの値上げ問題が続いているのが現状で引き続き話し合いを進めております。

引込工事中の人身事故も、他府県ではありますが依然として続いております。幸いにも三重県において重大事故は発生しておりませんが、気を引き締めていかねばなりません。会員減少によるところの年金基金加入者促進の停滞等々、事業委員会各部会の問題は山積みしております。厚生に長く携わってきましたが、今後は各部会に広く森本副委員長と力を合わせ、皆さんのお力をお借りして、微力ながら努力してまいります。

### 関係団体の表彰

次の方々が各関係団体から晴れの表彰を受けられました。おめでとございしました。

平成十八年五月十八日

(中部協定会連合会会長表彰)

(優良技能電気工事店社)

津支部 (㈲アヤ電気)

桑名支部 (㈲新功電気工業所)

平成十八年五月十一日

(電気安全中部委員会委員長表彰)

(電気保安功労)

電気工事店社 大台支部 森井電気工業(㈲)

鳥羽支部 (㈲)かたおかデンキ

電気工事士 津支部 落合喜久生

平成十八年度

青年部通常総会開催

六月二日、三重電気会館において、三重県電気工業工業組合青年部会の第二十五回通常総会を開催しました。

九十二名(内委任出席四十八名)が出席、来賓として楠理事長・三井・石原各副理事長が出席された。北勢ブロック服部正己氏の司会により進行、楠理事長挨拶の後、議長を選出、中勢ブロック和田浩実氏が議長となり議案審議に入った。

「平成十七年度事業報告及び収支報告承認」「平成十八年度事業計画案及び収支予算案の承認」など提出議案について原案どおり全て可決承認された。

なお、本年度会員総数は、百十六名となった。

引き続き、役員改選を行い別項のとおり、竹田新会長をはじめ、正・副会長が

全員新任となり、また、新たな役員として六名が選出されました。休憩の後、研修会となりました。改選により、新任役員が多くなり、新執行部体制に何を求められているかを

明らかにするため、「青年部会活動について」をテーマに各テーブルディスカッションを行った。青年部会の将来の展望を見据えた意見が多く出され、有意義な意見交換の場となった。



川合会長のあいさつ

青年部新役員名簿

○会長	長 竹田 浩久(津)	新任
○副会長	谷 高志(上野)	新任
○副会長	岡野 達也(松阪)	新任
○副会長	満仲 賢治(桑名)	新任
○ブロック長	中 勢 乗竹 謙一(津)	新任
伊賀	山 森 悟(上野)	新任
中南	瀬 古 敏史(大台)	新任
伊勢志摩	西 山 元弘(伊勢)	新任
北勢	斎 藤 賢司(四日市)	新任
桑名	水 谷 昌司(桑名)	新任
○監事	庄 村 親俊(津)	新任
○監事	竹 野 弘一(鳥羽)	新任
○相談役	川 合 淳(四日市)	新任
○相談役	長 谷 一男(松阪)	新任

就任あいさつ

青年部会 会長 竹田 浩久

三重県電気工業工業組合青年部会平成十八年度総会におきまして、会長に就任することになり、身の引き締まる思いです。現状の青年部会をみますと、研修会、家族親睦会の開催や仕事の助け合いなど、会員間の交流も活発であり、部会員の方々にはメリットを感じていただいていると思います。また今年度より県工組の事業委員会に四名(7面へつづく)

(6面よりつづく)

の青年部枠をいただくなど、  
会員の皆様方からの期待の  
急速なる高まりを感じてお  
ります。これも先輩方の地  
道な努力のたまものであり、  
感謝いたしております。た  
だそれに伴ってこれまで以  
上に責任を果たしていかな  
ければならないと決意を新

たにしています。

また、現在会員数百十六  
名ですが、部会員の高齢化  
について危機感も感じてお  
り、これからの部会・組合  
の事を考えますと、新しい  
仲間を増やすことが大変重  
要な事であると考えます。  
もちろん、これまで以上に、  
部会の魅力を創りだして

### 参与の異動(新任)

平成十八年七月一日

大瀧 敏幸

(中部電力㈱三重支店 営業部長)

小山 光彦

(中部電力㈱三重支店 津営業所長)

谷奥 和裕

(中部電力㈱三重支店 上野営業所長)

小林 文秋

(中部電力㈱三重支店 松阪営業所長)

山本 親正

(中部電力㈱三重支店 尾鷲営業所長)

伊藤 明洋

(中部電力㈱三重支店 伊勢営業所長)

今井 章典

(中部電力㈱三重支店 営業部配電建設課長)

いくよう、役員一致団結・  
精進してまいります。会  
員の皆様方には新規加入促  
進にご協力お願いいたしま  
す。

平素のご支援に感謝申し  
上げますと共に、今後とも  
部会へのご理解ご指導いた  
できますよう重ねてお願い  
申し上げます、ご挨拶と  
させていただきます。

### 訃報

つぎの方々が、不幸にして物故されました。  
謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

○18・1・14

富田支部

躍伸電機商会

○18・2・4

津支部

㈱セイワ電気

○18・3・8

亀山支部

加藤ラジオ店

○18・4・19

四日市支部

木村電機工業

○18・5・14

松阪支部

村田電気

杉山 博 (75歳)

鈴木 正和 (76歳)

加藤 邦房 (81歳)

木村 満義 (77歳)

村田 貢 (76歳)

## 労働保険の加入手続はお済みですか

三重労働局

— 10月は、「労働保険適用促進月間」です —

労働保険の加入手続をとられていない事業主の方は、速やかに加入手続をとられるようお願いします。

【問合せ先】 三重労働局総務部労働保険徴収室 (TEL 059-226-2100)

または、最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所へお問い合わせ下さい。



# 工組40周年・協力会60周年 記念式典・祝賀会 盛大に挙行



楠理事長・会長あいさつ

と き 五月二十五日  
 と ころ プラザ洞津  
 式典には、国・県・関係団体など五十名の来賓のご臨席を賜り、会員百名を含む百七十名の出席のもと盛大に開催された。  
 式典では、楠理事長・会長のあいさつに次いで、永年役員として業界発展のためにご尽力頂いた岡野副理事長をはじめ、三十六名の方々に表彰状・感謝状と記念品が贈られた。

引き続き、ご来賓の中部経済産業局中部近畿産業保安監督部長はじめ五名の方々からご祝辞を賜り、その他ご来賓の紹介並びに祝電の披露の後、式典は盛況に終了した。  
 次に、参加者一同が祝賀会に入り親睦交流の実をあげ歡をつくし、和気あいあいの内に散会、意義ある式典・祝賀会に幕をおろした。

**三重県電気工事業  
工業組合設立40周年  
協力会設立60周年  
記念表彰受賞者**

- 1、 中部経済産業局長表彰  
【組合役員功労】  
岡野 秀隆 三井 徳男
- 2、 三重県知事表彰  
【組合役員功労】  
伊藤 満三
- 3、 三重県中小企業団体中央会長表彰  
【組合役員功労】  
藤田 昌憲
- 4、 全日本電気工事業工業組合連合会長表彰  
【組合役員功労】  
飯田 秀爾 繁田 義久 石原 和夫  
森本 恭弘 山本 幸
- 5、 東海電友共済会理事長表彰  
【職員功労者】  
勢力 玉美 早川 道子





謝 辞



中部近畿産業保安監督部長あいさつ



中部経済産業局長表彰



来賓による鏡開き

- 7、三重県電気工業事業工業組合理事長・会長感謝状
- 【役員永年勤続】
- 植田 昇 倉田 隆
- 【永年勤続事務局職員】
- 鹿間沙由美 上之郷千佳子  
坂本 泰子 中島貴美代
- 【三重県電気工業事業共済会優良支部】
- 上野支部 名張支部 烏羽支部
- 富田支部 池田 卓三  
桑名支部 服部 孝吉  
員弁支部 城野 正  
鈴鹿支部 小林 勝  
亀山支部 豊田 重則
- 6、三重県電気工業事業工業組合理事長・会長表彰
- 【支部功労者】
- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 津支部   | 川合 礼一 | 平井 卓次 |
| 久居支部  | 北出 和弘 |       |
| 上野支部  | 森田 貞行 |       |
| 名張支部  | 大谷 行夫 |       |
| 松阪支部  | 池山 清司 | 辻 清雄  |
| 大台支部  | 三井 義雄 |       |
| 尾鷲支部  | 川口 豊  |       |
| 伊勢支部  | 亀井 正信 | 三上 昇  |
| 烏羽支部  | 竹野 弘  |       |
| 志摩支部  | 見置誠一郎 |       |
| 四日市支部 | 大西 宣義 | 佐藤 武夫 |
|       | 服部 七郎 |       |

# 支部だより

〈大台〉 〈伊勢〉 〈鳥羽〉 〈桑名〉

## 大台支部 宮川村災害 その後… M・N

二〇〇四年九月台風二十一号により、宮川村は一〇〇ミリを超える集中豪雨により、全半壊四十八戸、死者行方不明七人という被害がもたらされました。あれから一年と十一ヶ月経過し、宮川村は、復興に



災害直後

向けて懸命に努力してまいりました。

二〇〇六年一月に大台町と合併、その後も引き続き工事が進められています。災害前の宮川は日本一の水に選ばれた事もあり、多くの観光客や釣り人で賑わったものでした。

その清流宮川は流出した土砂により川底が押し上げられ、川肌は至る所で改修工事によるコンクリートと化してしまいました。

往年の人は、元の川に戻るのには三十年も五十年も、いや百年かかると嘆いておられます。

私達は大自然の前にはなすすべも無く、開発成長に



現在

一途に進進してきた事への警鐘でもあるのでしょうか。又今年も台風の時季が来ようとしています。一日も早い安全の確保と清流宮川を取り戻したいと願ってやみません。

## 伊勢支部

# 「お木曳 時流考」

月明かりの五十鈴川

二十一年に一度、御神殿を新しく建て替える伊勢神宮

の行事「式年遷宮」にちなんだ御用材の搬入神事としての「お木曳」が、伊勢の街では今年より行われています。

陸曳きのあとは川曳きと、伊勢神宮の領内を流れる五十鈴川のほとりも賑やかな様相を呈し、二十年ぶりに伊勢の神領民としての奉仕の心意気が、静かにまたおごそかに湧き上がる時季なのです。

二十年に一度の神事は、神宮のお膝元に住まわせていただく我々伊勢市神領民の一人一人の立場から考えてもまた、誠に、感慨深い行事だといえます。それは、取りも直さず行事自体が、自分自身の「二十年史」だからなのです。

その次の二十年、また二十年と、節目節目の人生が、どんな変化をしていったのか、その時自分の周りにどんな家族がいたのか、また、自身の心境やその年代をどう過ごして生きて来たのか、それを改めて省みる事がで

きる、つまり「お木曳神事」の中に身を置きながら、しみじみと二十年毎の自分自身を振り返ることのできる大切な機会なのです。

あの時はこうだった。この前はこうだった…そしてまた今回も元気で「お木曳の年」を迎える事が出来た。その有り難さこそ、誰しもが一番に神殿の前で心静かに神に感謝する唯一のことなのではないでしょうか。

よくお年よりの言う言葉に「最後のお木曳だから…」と言うのがあります。もう二十年先はこの世にいないと言う意味で暗に寂しいと言っているのでしょうか。いえいえ、まだまだ、この次もその次もお元気で…

と言いつつ共に古からいにしよの神事を見守る今日この頃です。

ところで、この次…私、大丈夫かしら？…二十年先って何歳？…深く考えない事にしよう！  
(11面へつづく)

伊勢支部

わたくし流 勧誘電話  
対応マニュアル  
〈パロディ部門〉  
ムーン・ライト五十鈴川

(10面よりつづく)

その① 物品販売系正直篇  
「先立つものがありませんので。ありがとうございます。」  
ガチャ。  
その② 先物取引系寸劇篇  
「主人は、只今逃亡中です。あっ！また借金取りが来た。切ります。」  
ガチャ！  
その③ 教育系虚構篇  
「うちの息子は、トップクラスです。塾も家庭教師も結構です。」  
ガチャ。  
(受話器を置いた後の独り言)「トップはトップでも後ろからだけど…」

鳥羽支部

まちの元気人

出口 裕 朗

私の町には五三会という名称の青年団が四十年以上前から組織されていて、昔は青年の交流を目的とした、年に一度の夏祭り四年に一度の鳥羽祭り等々町内会の下で、お楽しみ会的な事業が行われていましたが、わが町も過疎化・高齢化が進み、町内会の事業が滞りがちになり又五三会自体も人員不足から運営自体が危惧される時期がありました。そのような時に少人数のメンバーが立ち上がり、これからは自分たちが楽しむだけではなく、この町に又地域に住む人が、住んでいて楽しく、住みやすい町になることを目的に、事業を

見直し又賛同してくれるメンバーをつのり、新たなる活動に進進しました。その一つが子供会です、当時少子化の中、子供会活動も縮小していましたが、子供達は「町の宝」これをモットーに、育成会に協力し活動を行い、同じ悩みを持つ他町にも声をかけ、合同事業から合併事業へと展開し現在もお楽しみ会・お別れ遠足・リサイクル活動等育成会と共に、子ども達を地域で育てる活動を続けております。このような活動を通して人と人との絆・輪を広げ、今では町内会・行政からの要請型から提案型の町づくりに変わってきています。花いっぱい運動を起し定期的にガーデニング教室を開催しています。又一昨年は通学途中にある危険な廃屋を取り壊し駐車場に整備しました。今年も廃屋を利用し休職所・公衆便所に变身させ子ども達・地域の方々等の休憩所として利用

桑名支部

川 釣 り

三 上 忠 彦

されています。このような活動を現在も続けながら地域の繋がりを深め、子ども達を地域で育てる人達が住んでいる、この町が私は大好きです。

昔々、祖父の肩車で町屋川(員弁川)の流れを渡って中州に行き遊んだことを思い出す。私の住いの裏手を町屋川が流れている。小さい頃から高校の頃までよく遊んだ。昔は柳の河畔林があり、川中まで根が伸びていて川海老・蟹・うなぎや、魚の棲家になっていて、沢山の獲物が獲れた。昼間は泳ぎ、夕方からは

夜突き、夜は伯父とカーバイトランプを持って鮎漁を楽しんだ。

名阪高速が建設され、いつの間にか柳は斬られ、建設省と土建業者の大好きなセメントで固められた河畔になった。魚も外敵から身を守る場所が無ければ、住めないのだろう。

名阪の塗装工事の際などは、足場を固定していたパセンを全部川中に捨てていくありさまで、鮎掛も投網も出来なくなった。そんなこともあり、車の免許を取ってからは遠くの溪に足が向くようになり、町屋川へは行かなくなった。そして、遠く溪に想いを馳せることになった。

ゴールデンウィークを過ぎると川釣りシーズンに入る。水温も上がり魚も活性を取り戻す。木々は新芽を出し、山中は新緑に覆われてゆく。水生昆虫の羽化も始まり本格的な川釣りの季節となる。リュックを背負

(12面へつづく)



(11面よりつづく)

い毎週山に入る。

私の釣り支度は、いたって簡単なもので、日本のテシカラ仕掛に外来のドライフライを結んで釣る、和洋折衷のずぼらなフライフィッシングである。毛鉤の良いところは、そのポイントで一番大きな魚が最初に食いつく。事実、大物が最初に釣れる。下手だが、毛鉤も自作している。

魚には不評で、偽物と直に判るのか、眺めるだけで興味すら示さず、おまけに尻尾で、叩かれる事もよくある。本当に下手な毛鉤なのだろう。よほど腹の減った奴か、奇特的な魚しか釣れないが、結構釣果もあり楽しんでる。

今年の初釣は、GWの中日に釣友と二人で、牧川支流に出掛ける。山道を下り、幾里谷に入溪する。魚は小物ばかりで、さっぱり釣れない。その代わり食べ頃のゴゴミを沢山土産に持ち帰る。

連休最終日に久しぶりに

宮川に出掛ける。護岸は丈夫そうなコンクリートの壁となつて安心感がある。以前の面影はなく、災害後全くアマゴは釣れなくなった。ダメモトで本流に入るとアマゴを一匹釣り上げる。支流は資源保護のため当面禁漁となった。溪屋にとつては寂しい限りであるが、魚影の回復(全面禁漁であれば三年で魚影は回復する)を待つしかない。

行きつけの茶店で、釣上げた魚と去年の落鮎(子持鮎)を焼いてもらう。ビールが旨い。災害で敷席が流されたこともあり、店内は狭いが皆元気で何よりだ。

護岸整備も終り、今年から新たな敷敷を建設中である。釣が出来なくても、自然に身を置いて居る事が好きな者にとつては、景色を眺めて居るだけで飽きるこ

## ▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部名	種別	コード番号	事業所名	代表者	郵便番号	住所	電話番号	登録(届出)番号
名張	新規加入	31647	榎森空調システム	森 詳久	518-0623	名張市桔梗が丘3-1-10	0595-66-2315	17-138
松阪	新規加入	32183	備リョーデン	前 豊亘	515-0811	松阪市塚本町474-4	0598-26-5224	17-85
松阪	退会	32059	小林電気商会	小林 博	515-2332	松阪市嬉野津屋城町799-1	0598-42-2245	13-57
伊勢	退会	33062	伊勢電工	荒木 重夫	516-0044	伊勢市前山町457-3	0596-22-2625	15-172
上野	退会	31502	橋本電気	橋本一好	519-1413	伊賀市愛田2901	0595-45-5240	13-150
四日市	退会	34057	石黒電気工務店	石黒幸三郎	510-0062	四日市市北浜田町1-24	059-353-5656	14-53
志摩	退会	33440	仲山電気商会	仲山 敏幸	517-0506	志摩市阿児町国府813	0599-47-4033	17-36
志摩	退会	33413	坂口電機商会	坂口 勝美	517-0404	志摩市浜島町浜島1330-28	0599-53-0323	18-80
四日市	退会	34130	佐藤設備工業㈱	佐藤 秀樹	510-1226	三重郡菟野町大字吉沢440	059-393-4661	(届出) 90-24
四日市	退会	34154	日沖電設	日沖 睦	512-8048	四日市市山城町443	059-337-1885	14-64
四日市	承継加入	34027	大勢電気商会	谷口 良孝	510-0971	四日市市南小松町1453	059-321-0657	18-18
志摩	承継加入	33405	ミオキ電化設備㈱	見置 雅樹	516-0101	度会郡南伊勢町五ヶ所浦1016	0599-66-0073	(届出) 96-3
員弁	変更・承継	34616	備多湖電気	多湖 盛夫	511-0217	いなべ市員弁町大泉新田45-4	0594-74-2164	(届出) 05-19
四日市	承継加入	34157	川島電気工事	川島 光洋	510-0948	四日市市室山町604-6	059-321-6814	18-86

支部名	種別	コード番号	事業所名	代表者	郵便番号	住所	電話番号	登録(届出)番号
富田	承継加入	34322	躍伸電機商会	杉山 悟司	510-8028	四日市市下之宮町292-2	059-365-3015	18-143
松阪	承継加入	32079	北村電気工事協	北村 雅人	515-0019	松阪市中央町36-5	0598-51-3732	(届出) 06-4
津	承継加入	31310	竹田電機商会	竹田 浩久	515-2613	津市白山町山田野206	059-262-0239	(届出) 01-66
津	承継加入	31331	富田電気商会	富田 正広	515-3311	津市美杉町下多気2365-1	059-275-0136	(届出) 56-14
松阪	承継加入	32015	柳八重口電機工業所	八重口明宏	519-2187	多気郡多気町蹴形246	0598-38-2008	(届出) 05-18
亀山	承継加入	34941	加藤ラジオ店	加藤 隆	519-0116	亀山市本町3-11-8	0595-82-1824	15-134
四日市	承継加入	34026	木村電機工業	木村 寿剛	510-0805	四日市市東阿倉川270-3	059-331-5643	18-266
四日市	変更	34090	㈱トーエネック 四日市営業所	岡田 三郎	510-0013	四日市市富士町2549	059-331-2191	(届出) 大臣4665
四日市	変更	34016	三村電気㈱	三村 正	510-0943	四日市市西日野町4444	059-320-1500	(届出) 57-33
桑名	変更	34444	㈱明和電気工業	山口明裕	510-8111	三重郡川越町当新田139-3	059-365-6893	13-378
上野	変更	31506	㈱南出電気工業	南出政彦	518-0869	伊賀市上野中町3003-1	0595-21-2805	15-115
上野	変更	31453	上田電気	上田 繁	518-0017	伊賀市大谷604-19	0595-21-9144	18-195
津	変更	31060	㈱アヤ電気	吉田章男	514-0815	津市藤方2244-2	059-224-0121	18-142
四日市	変更	34055	㈱夢真総合設備 四日市営業所	桑田博武	510-0064	四日市市新正2-8-18	059-354-1715	(届出) 大臣46203
志摩	変更	33470	㈱夢真総合設備	木下 茂	517-0501	志摩市阿児町鶴方2765-2	0599-43-1304	(届出) 大臣46203
四日市	変更	34200	㈱三重電機商会	大久保正行	510-0012	四日市市大字羽津4541-3	059-333-5606	14-172
志摩	変更	33452	オーガタ	羽根 幸安	517-0213	志摩市磯部町穴川141-2	0599-55-0155	17-133
伊勢	変更	33167	㈱イレクト伊勢	阿形 治信	519-0609	伊勢市二見町茶屋421-2	0596-42-1810	(届出) 90-31
松阪	変更	32090	㈱トーエネック 松阪営業所	堤 光次	515-0044	松阪市久保町東1855-23	0598-29-1313	(届出) 大臣4665
鈴鹿	変更	34751	㈱フジ総合設備	藤田 昌憲	513-0816	鈴鹿市南玉垣町4947	059-383-3036	17-26
鈴鹿	変更	34290	㈱トーエネック 鈴鹿営業所	土性 俊裕	510-0201	鈴鹿市稲生町8278-5	059-370-5300	(届出) 大臣4665
鈴鹿	変更	34708	㈱光電気工業所	山中 茂樹	513-0817	鈴鹿市桜島町4-2-13	059-383-1824	(届出) 46-59

＝安全推進運動標語＝

元気よく 安全呼称で 無災害

習慣が わが身を守り 家族も守る

慣れたころ 基本にもどり 安全作業

・二月二十三日付  
電気安全サービス  
事務局職員  
中野 千恵  
不慣れなため、ご迷惑をおかけするかとありますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

事務局職員紹介

## 「全日電工連グループ共済制度」加入促進キャンペーン

加入促進期間 即時～10月31日まで

この制度は安い掛け金で大きな保障が得られ、取扱いも簡単！

そのうえ、年1回の収支決算時に余剰金がある場合、配当金が還付されます。

保障内容と掛金は… (パンフレットより抜粋)

給付事由	新規加入口数 (加入保険年齢)		61歳～65歳 2口限度					51歳～60歳 7口限度			15歳～50歳 10口限度		
	1口	2口	1口	2口	3口	4口	5口	6口	7口	8口	9口	10口	
	1口	2口	3口	4口	5口	6口	7口	8口	9口	10口	10口	10口	
保障の内容	<b>病気死亡・高度障害</b> (加入者が保険期間中に下記以外の一般病気死亡および別表障害等級第1級の高度障害状態になったとき) 死亡(高度障害)保険金	100万円	200万円	300万円	400万円	500万円	600万円	700万円	800万円	900万円	1000万円	1000万円	1000万円
	<b>不慮の事故による死亡(高度障害)</b> (加入者が加入日以後の不慮の事故を原因として、事故の日から180日以内かつ保険期間中に死亡(高度障害)したとき、または加入日以後に発病した感染症予防・治療法に定める一環～三環感染症により保険期間中に死亡したとき) 死亡保険金+災害保険金又は 高度障害保険金+障害給付金(第1級)	200万円	400万円	600万円	800万円	1000万円	1200万円	1400万円	1600万円	1800万円	2000万円	2000万円	2000万円
	<b>不慮の事故による障害</b> (加入者が加入日以後の不慮の事故を原因として、事故の日から180日以内かつ保険期間中に別表障害等級第2級～第6級のいずれかに該当したとき) 障害給付金	第2級 70万円 第6級 10万円	第2級 140万円 第6級 20万円	第2級 210万円 第6級 30万円	第2級 280万円 第6級 40万円	第2級 350万円 第6級 50万円	第2級 420万円 第6級 60万円	第2級 490万円 第6級 70万円	第2級 560万円 第6級 80万円	第2級 630万円 第6級 90万円	第2級 700万円 第6級 100万円	第2級 700万円 第6級 100万円	第2級 700万円 第6級 100万円
	<b>不慮の事故による入院</b> (加入者が加入日以後の不慮の事故による傷害の形態を目的として、事故の日から180日以内かつ保険期間中に5日以上入院したとき) (120日限度) 入院給付金	1日につき 1,500円	1日につき 3,000円	1日につき 4,500円	1日につき 6,000円	1日につき 7,500円	1日につき 9,000円	1日につき 10,500円	1日につき 12,000円	1日につき 13,500円	1日につき 15,000円	1日につき 15,000円	1日につき 15,000円
月払掛金(概算)	650円	1,300円	1,950円	2,600円	3,250円	3,900円	4,550円	5,200円	5,850円	6,500円	6,500円	6,500円	

※ お問い合わせは、各支部事務局まで

事故による保険金の支払い  
は、保険会社の資金ではなく、  
皆様方の掛け金の中から  
支払われています。



発行所  
 三重県電気工事業工業組合  
 事務局  
 TEL 059-226-4862  
 FAX 059-226-4869  
 E-mail miedkuni@ztv.ne.jp